

函 土 公 整

令和 7 年 (2025 年) 6 月 9 日

経済建設常任委員会委員 各位

土 木 部 長

参考資料の配付について

このことについて, 下記資料を別添のとおり配付いたします。

記

都市公園のストック再編に向けた公園利用者のニーズ等の調査について

(土木部公園河川整備課 電話: 21-3437)

都市公園のストック再編に向けた公園利用者のニーズ等の調査について

都市公園の多様なストック効果を最大限に発揮させるためには、地域の実情に応じた公園整備を図る必要があることから、次のとおり公園利用者に対するニーズ等の調査を実施する。

1 都市公園における現状

- (1) 高度経済成長期以降の人口増加に伴い市街地が拡大した地域では、開発行為によって設置した小規模な公園が密集し、同一地区内の公園に類似した小型遊具が複数あるなど、公園の機能が重複しており、利用頻度が低い公園が見受けられる。
- (2) 整備から数十年経過した公園においては、利用者のニーズの変化等により、当初想定していた効果を発揮できていないものや、現在の安全基準が定められる前に整備された遊具について、安全領域が十分に確保されていないものがある。
- (3) 公園には、標準使用期間（鉄製遊具は15年）を超えた遊具が多数あるが、公園施設長寿命化対策事業では、使用頻度の高い複合遊具の更新などに留まっており、小型遊具について十分に更新できていない。

2 スtock再編の目的

- (1) 利用者のニーズ等に対応した公園の機能分担を図ることで、既存公園を有効活用し、魅力を向上する。
- (2) 重複した公園機能を解消することにより、維持管理コストを縮減する。

3 今後の対応方針

公園ストックの再編にあたっては、地域の合意を得ながら行う必要があることから、まずは、町会を通じ公園利用者のニーズ等の調査（ワークショップ）を実施し、各地域における公園に係るニーズ等について把握していく。

その上で、必要な対策について検討を進めていくものであるが、その対策については、現時点において、概ね以下の内容の事業の実施を想定している。

- ① 同一地区内の公園における重複した機能を解消し、新たなニーズにも対応した公園のリニューアルを行う。
- ② 遊具の安全領域を確保し、ハザードを除去する。
- ③ 同一地区内の公園にある類似した遊具を集約（撤去）するなど、遊具の数を減らし、維持管理費の縮減を図る。

事業の実施にあたっては、「（仮称）函館市都市公園ストック再編計画」を策定し、社会資本整備総合交付金（都市公園ストック再編事業(国費 1/2)）を活用することに

についても合わせて検討していく。

なお、対象地域については、小規模な公園が密集している道道函館上磯線（通称：産業道路）から北側の地域において、調査を行っていくこととしたい。

4 今後の予定

- (1) 町会を通じた公園利用者へのニーズ等調査（ワークショップ） R 7. 6月下旬～
- (2) ニーズ等に対応するための対策の検討
- (3) 都市公園ストック再編に係る方針の整理